

オゾン発生装置使用時の室内オゾン濃度と製品の安全性について

弊社商品は常に低濃度オゾンを安定して生成することにより、室内のオゾン濃度が基準以上にならないように設計されております。

弊社オゾン発生装置の特徴

1. 環境（温度・湿度）の影響を受けにくく安定したオゾン生成が可能
2. 長期間使用しても経年劣化を起こしにくく、安定した性能を維持（簡単な掃除で能力復帰）

このような特徴から、「効果を得るために必要なオゾンの安定生成」と「安全を確保した低濃度の維持」を両立させることができています。

この度、オゾン発生装置使用時に室内オゾン濃度がどのくらいになるかを公的検査機関で評価することが可能になり、試験を実施しました。

結果、室内のオゾン濃度は基準以下であり、かつ効果を得るのに必要なオゾンが生成されていることが確認されましたのでご報告します。

●試験内容

試験機関：一般財団法人 日本品質保証機構

対象製品：ピコレッツ／PLS-1

結果：24時間後のオゾン濃度 0.045ppm

※この試験は、オゾン吹き出し口から5cmという距離で測定しています。

至近距離でオゾンを吸い続けても問題無いことが証明されました。

◇参考 — オゾン濃度の基準

オゾンを発生する器具による室内ガスの許容濃度：最高0.1ppm 平均0.05ppm

日本空気清浄協会(1967)

【添付資料：試験成績書（JQA）】

平成23年6月
オーシーアール株式会社

試験成績書 (写し)

JQA 1頁/総頁3
JQAファイリング番号 KL25110002

試験成績書

試験者名 オーロット株式会社
住 所 〒709-0721 岡山県赤松市坂が丘3-3-765

試験品名 小型オゾン発生装置 ビコレップ
型 名 PLS-1
定 格 AC100V、50/60Hz、4.6W
製 造 番 号 C PLS1B 000337
製 造 者 名 MGA Corp

試験内容 取扱内容に基づく試験

試験場所 一般財団法人 日本品質保証機構 北関西試験センター
〒562-0027 大阪府箕面市石丸1-7-7

試験結果 添付の試験詳細のとおり

試験年月日 2011年4月18日～2011年4月19日

試験の結果は上記のとおりであることを証明します。

発行日: 2011年4月20日
一般財団法人 日本品質保証機構
北関西試験センター
所 長 相 原 恒 也

〒562-0027 大阪府箕面市石丸1-7-7

*試験に適用した規格、試験条件及び試験方法は、依頼者の申込みに基づいたものです。
この試験結果書は、試験時に提供された試験品に対して試験を実施した結果を記載したものであり、同一製品内の他の製品の品質に適用されるものではありません。
この試験結果書の内容は、消費者向けの宣伝等の目的に利用することは出来ません。
この試験結果書の内容が正確であることを保証するものではありません。保証は試験機の製造者にあります。

試験文書番号 21111-0001

試験条件

電源: 60Hz 100V

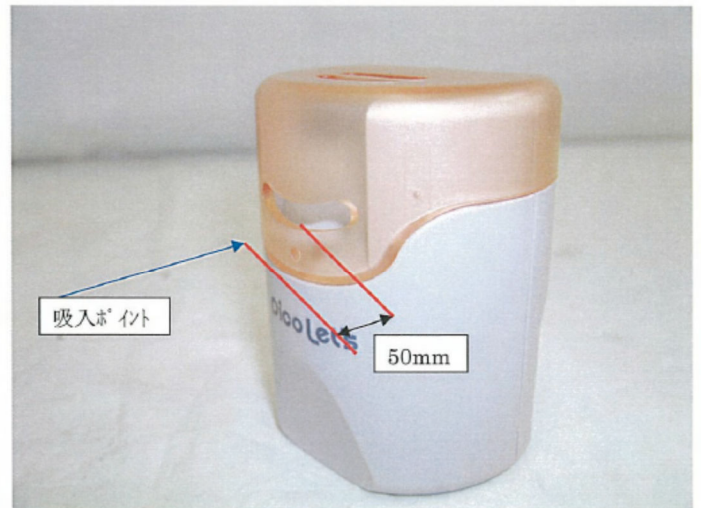
製品動作モード

運転コース: 「強」

測定室内でのガス吸引箇所は空気の出口から前方に50mm離れた箇所 (図-1)

測定位置

図-1



JQA 2頁/総頁3
JQAファイリング番号 KL25110002

試験明細

- 試験品: 小型オゾン発生装置 ビコレップ「PLS-1」
- 入力定格: AC100V、50/60Hz、4.6W
- 試験項目: 家庭用・空気清浄機規格 (IEC-240325-2:05) 32-1項を準用し下記の条件にて測定
- 試験条件及び製品動作モード: 室温25℃、湿度50%
測定コース: 「強」
測定室寸法: 4m×3m、5m×3m、5m×3m
- 使用測定器: 財団法人株式会社 財「EG-2001P」

試験条件
電源: 60Hz 100V
製品動作モード
運転コース: 「強」
測定室内でのガス吸引箇所は空気の出口から前方に50mm離れた箇所 (図-1)

測定位置

図-1

試験文書番号 21111-0001

6. 試験結果

JQA 3頁/総頁3
JQAファイリング番号 KL25110002

6. 試験結果

測定時間	測定値 [ppm]
試験前	0.000 以下
24時間後	0.045

以下 余 白

測定時間	測定値 [ppm]
試験前	0.000 以下
24時間後	0.045